

2015年
1月17日(土)
13:00～16:40

愛知大学 車道校舎 13階
第3会議室

本ワークショップでは、東亜同文書院構想のもとになった日清貿易研究所、またそれを実現するにあたりキイパーソンであった荒尾精についての多面的な評価について、さらに東亜同文会が、初期における東京同文書院を継承して東亜同文書院内に中国人留学生のために設置した中華学生部、さらに東亜同文会から戦後への霞山会への継承という、3つのテーマを通じて約半世紀にわたる東亜同文会、東亜同文書院の日中関係での役割について、議論したいと思います。

報告内容

- 12:30 受付開始
- 13:00 趣旨説明 馬場毅(愛知大学名誉教授)
- 13:10 野口 武
(東亜同文書院大学記念センターポストドクター、愛知大学非常勤講師)
「日清貿易研究所」研究の成果と課題——東亜同文書院前史としての位置付けと荒尾精の評価について
- 13:50 武井 義和
(東亜同文書院大学記念センター研究員、愛知大学非常勤講師)
東亜同文書院中華学生部と日本へ学生たちの日本見学旅行を中心に～
- 14:30 堀田 幸裕 (一般財団法人霞山会文化事業部研究員)
東亜同文会から霞山会へ
- 15:10 休憩
- 15:25 コメント1 大里浩秋(神奈川大学教授) コメント2 馬場毅
- 15:55 総合討論 司会：馬場毅 (16:40 終了予定)

<主催> 愛知大学 東亜同文書院大学記念センター／

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

<お問合せ> TEL: 0532-47-4139 E-mail: toa@ml.aichi-u.ac.jp

URL: <http://www.aichi-u.ac.jp/orc/>

日中関係の再検討

東亜同文会・東亜同文書院と

愛知大学 東亜同文書院大学記念センター ワークショップ

予約不要・入場無料

